

地方の産業集積がグローバルバリューチェーン（GVC）につながるには、集積地域の持つ支援機能が重要になります。地域ではどのように資金を確保し、優秀な人材を育て、技術水準を引き上げ、他のローカル企業や地方自治体とつながっているのか。具体的には①ベンチャーキャピタルなどスタートアップの補助②技術面や人材面での大学との連携③地域金融の充実④地方自治体や商工会議所による情報などソフト面での支援⑤同業者間や他業種間の地元ネットワークによる互助—などです。

こうした背景を持つ地域の産業集積はいわばローカルチェーンといえますが、GVCと有機的にリンクさ

産業集積による地方創生 ⑦

せるには「潤滑油」が必要となるでしょう。その第一は流通業です。地方には生産性が高くても国際化できない企業（臥龍IIがりょうII企業と呼ばれる）が少なからず存在します。地方の卸売業がうまく媒介して輸出入を促進できれば、GVCに組み込まれる可能性も出てくるでしょう。

第二に大企業の本社機能の回帰です。東京に本社のある生産性の高い大企業の中には地方で創業した企業も多々あります。そうした企業の機能の一部を地方へ回帰するよう促し、地方の技術力のある企業と連携したり、伝統産業やサービス産業と連携して高付加価値を追求することで、輸出したりGVCにつながったり

独自の魅力が集積の基盤に

することが考えられます。交通網やICT（情報通信技術）は高度に整備されており、何らかの外生的なショック（大規模自然災害など）で本社機能が地方に移転する流れに変わる可能性は低くないと思われます。

ただ、政策頼みではGVCにつながることも、質の高い産業集積の形成も進まないでしょう。グローバル化した現在、問われるのは国内だけでなく世界におけるその地方の比較優位であり、地域の独自性と魅力です。各地域の企業や人々が地域の強みを発掘し、どう磨いて世界に発信していくか、それぞれの地域で何が強みなかが問われます。理念ある地域の経営者を含め、多様な人々の協働によって独自の文化と魅力を作り上げていくことが、強い産業集積を形成する基盤になってくるのです。